

事前評価表

整理番号	23
------	----

地域（地区）名	おおいたな ぶんぶ 大分南部	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	大分県	対象市町村	さいきし 佐伯市
事業実施期間	R7年度～R11年度（5年間）	事業実施主体	県、市、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	本地区は大分県の南部に位置し、東に豊後水道、南は傾山山系を介し宮崎県と接し、北は大分中部地域と接する佐伯市1市を区域とする。県内でも比較的降水量が多く急傾斜地が占める割合が高いという特徴から、台風や大雨によって度々水害が発生している地域である。 本地区の総面積は90千haであり、このうち民有林森林面積は64千ha（民有林率82%）となっており、スギ・ヒノキを主体とした人工林面積は33千ha（人工林率52%）である。人工林の齢級構成は、8齢級以上の森林が74%と利用の適期を迎えた森林が充実している状況にある。 また、本地区内の路網整備の状況は林道延長450km（密度6.97m/ha）、作業道1,068km（密度16.55m/ha）が整備され、県平均路網密度の林道4.85m/ha、作業道16.23m/haをともに上回っている。 このことから、本地区の豊富な人工林資源を有効活用し、林業・木材産業の持続的発展を図るためには、路網整備を推進することで、主伐及び利用間伐といった資源の循環利用を促進し、また、主伐後の再造林や下刈等の保育を確実に行うことで、水源涵養機能をはじめとする公益的機能の維持増進を図る必要がある。 このため、本事業では、大分南部地域森林環境保全整備事業計画を策定し、間伐等の施業集約化一貫作業による主伐後の確実な再造林を推進し、森林整備の低コスト化を図るとともに、森林整備の効率的な実施に必要な路網整備を一体的かつ計画的に実施するものである。
事業内容・事業費	森林整備：12,953ha 人工造林、一貫作業、下刈り、除伐、枝打ち、間伐等 路網整備：1,565m 林道開設 総事業費：10,163,794千円（税抜き 9,239,813千円）
費用便益分析結果	$B/C = 7.06$ （総便益（B）＝116,438,245千円、総費用（C）＝16,498,982千円）

評価結果	必要性： 主伐が広く実施される地域であり、地域材の利用促進と森林の公益的機能の維持増進のためには、主伐後の確実な再造林や、その後の下刈等の保育が不可欠であり、森林資源の循環利用の観点からも、事業の必要性が認められる。 効率性： 費用便益分析の結果から十分な効率性が認められるとともに、本事業を活用した計画的な森林整備及び路網整備により、施業地の集約化や生産コストの縮減が図られることから、事業の効率性が認められる。 有効性： 地域の特性、森林資源の現状並びに自然条件や社会的要請等を総合的に勘案した事業の実施により、森林資源の循環利用や公益的機能の維持増進が図られることから、事業の有効性が認められる。
-------------	--

便 益 集 計 表

（森林整備事業）

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：大分県

地域(地区)名：大分南部

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	49,859,238	
	流域貯水便益	5,638,531	
	水質浄化便益	22,521,165	
山地保全便益	土砂流出防止便益	16,722,805	
	土砂崩壊防止便益	100,518	
環境保全便益	炭素固定便益	8,507,557	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	550,567	
	木材利用増進便益	349,306	
	木材生産確保・増進便益	11,411,740	
森林整備経費縮減便益	造林作業経費縮減便益	149,211	
	森林管理等経費縮減便益	2,148	
	森林整備促進便益	421,782	
災害等軽減便益	災害復旧経費縮減便益	43,751	
維持管理費縮減便益		159,926	
総 便 益 (B)		116,438,245	
総 費 用 (C)		16,498,982	
費用便益比	$B \div C = \frac{116,438,245}{16,498,982} = 7.06$		

参考

費用便益比 (i=0.02)	$B \div C = \frac{190,858,968}{20,097,034} = 9.50$		
費用便益比 (i=0.01)	$B \div C = \frac{252,254,829}{22,874,229} = 11.03$		

森林環境保全整備事業 大分南部地域



造林・下刈



間伐



森林作業道



凡 例	
計 画 区 界	
事 業 区 域	
森 林 整 備	
林業専用道等整備	

